

議会だより



遊学の森「komorebiマルシェ」

不要果樹伐採を増額	2
町政を質す(5議員)	4
東京金山会総会、国会議員中央要望	10

※表紙の説明は12ページ



金山町緑の憲章
ロゴマーク

金山町議会の最新情報はこちら▶

山形県金山町議会

検索

編集 ◎ 議会広報常任委員会



不要果樹伐採 180万円増額

～クマ・イノシシ昨年上回るペース～

6月定例会が9日から12日まで開催され補正予算等10件の議案を全員賛成で可決した。
当初の予定を上回る春からの猟友会活動実績により900万円を追加補正した。
また、不要果樹を伐採する希望者が多く予算を追加し、町民の安全安心を確保したい。

※P6・P11 に関連記事

6月議会定例会提出議案

1. 町長提出議案

議案番号	議 案 名
議第45号	令和8年度金山町一般会計補正予算(第1号)
議第46号	令和8年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議第47号	令和8年度金山町介護保険特別会計補正予算(第1号)
議第48号	令和8年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議第49号	令和8年度金山町水道事業会計補正予算(第1号)
議第50号	令和8年度金山町下水道事業会計補正予算(第1号)
議第51号	金山町農業委員会委員の任命について
議第52号	軽四輪駆動小型動力ポンプ積載車の取得について
議第53号	除雪機械の取得について

2. 町長提出議案(追加提出議案)

議案番号	議 案 名
議第54号	令和8年度金山町一般会計補正予算(第2号)

議案への 質疑応答要旨

【議第45号 令和8年度金山町一般会計補正予算(第1号)】

大場洋介議員 地域農業構造転換支援事業で導入された機械の内訳と制度の盲点や注意点を申請者が理解したうえで受理されたのか伺う。

農林課長 トラクター3台・田植え機1台・コンバイン1台・ドローン1台・調整機器3台が導入された。成果目標の達成に必要な、過剰な設備投資になっていないかなど厳格に審査した。補助金依存のリスク等も認識しており、導入後の経営状況の確認・指導に努めたい。

星川智子議員 廃校物品の売り払いついての経緯は。また、今後町民への周知を都度行つてはどうか。

総務課長 一度全体に周知して希望者を募り、その後直接役場に相談があった方に評価額で譲った。周知の頻度は必要に応じて、できるだけ多く行いたい。

寒河江宏一議員 街路樹の剪定は毎年行つた方が安価なのは。また、電力会社なども独自に剪定しており、町が委託を受けてはどうか。

まちづくり課長 経費的な比較や企業から委託を受けられるのかは確認して検討したい。

中村忠行議員 現在行っていない集落支援員の募集を再開させ、町内登用を促しては。

まちづくり課長 町民が従事できるメリットがあるので課題に合致するものがあれば募集を検討したい。スポーツ関係は地域おこし協力隊で募集予定だが、有害鳥獣対策を含め集落支援員が相応しいのか検討する。

【議第46号 令和8年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)】

中村忠行議員 YCC情報システムへのサイバー攻撃で情報漏洩被害対象者への通知方法や費用負担責任は。

診療所事務長 診療所と総務課が担当し、通知にかかる郵送代等はYCC社に負担してもらう予定。

.....
【議第52号 軽四輪駆動小型動力ポンプ積載車の取得について】

寒河江宏一議員 入札状況は。

まちづくり課長・危機管理主幹 除雪車は5社指名で、3社が辞退し2社が応札。ポンプ積載車は3社指名で3社が応札した。

星川智子議員 除雪作業中の物損事故について、運転技術や注意不足などの原因をどう捉え、再発防止策をどう考えるのか。

町長 事故は第二に確認不足と考えている。バック時などの確認の徹底を指導しており、来シーズンには経験年数

を考慮した人員の組み合わせや注意喚起を行っていく。

【議第54号 令和8年度金山町一般会計補正予算(第2号)】

中村忠行議員 現在の人件費高騰を踏まえ、月額1万円という猟友会への報酬額は妥当だと考えているか。捕獲用の檻は緊急時に対応できるよう十分備えられているか。

農林課長 制定から約10年経過した為、今後は近隣市町村とのバランスや猟友会との協議で見直しを検討したい。檻は8基あり、破損時の更新は町が負担している。



支援事業で取得した農業機械



最上猟友会金山分会

町政を質す

ただ

中村 忠行 議員

機構改革による危機管理室の実効性について

大場 洋介 議員

地域の未来を支える力について

沼澤 道也 議員

金山型農業のこれからは

須藤 典夫 議員

新設計画の「ホットハウスカムロ」の給湯設備は

五十嵐 優一 議員

安心・安全なまちづくり

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。
町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。



春季消防演習（分列行進）



なかむら ただゆき
中村 忠行 議員

問

消防団員の処遇格差是正を

答

加算等を含め処遇改善を研究

消防団員の処遇格差の是正を

中村議員 基本団員と機能別団員の報酬格差は不均衡では。出動手当は最低賃金を下回る。

消火栓装備の統括管理体制を

中村議員 格納箱の点検管理と費用負担ルールは。全庁統括体制の構築を。

町長 社会情勢を踏まえ長時間出動時の加算等を含め総合的処遇改善を研究する。

危機管理主幹 各分団で毎年点検。自然劣化は公費負担。統括体制を整備する。



ホース格納箱

防災協定の実効性確保を

中村議員 防災協定の件数と内訳、代替調達先、協定台帳の状況は。

町長 公的9件、民間20件。台帳整備済。実効性確認の体制を推進する。



おおば ようすけ
大場 洋介 議員

問

次世代に繋ぐ『相互扶助』推進を

答

重層的支援体制の構築を目指す

地域の未来を支える力について

大場議員 『相互扶助』の試みと次世代に繋ぐ課題・対応は。

町長 従来の家族内での支え合いや地縁社会による相互扶助の機能の低下が喫緊の課題。高齢者支援において、住民一人ひとりが主役となる『重層的支援体制』の構築に努め、温かな地域共生社会を目指す。

大場議員 労働力確保が急務な中、作業受託の広域化に対するバックアップ体制などの認識は。

町長 労働力のシェアリングや広域化は有効的であり、連携組織の立ち上げや農業機械の導入に対する財政的支援などを行う。

大場議員 芸術・伝統文化の担い手育成に、行政と地域がどう協力するか。

町長 会員減少や高齢化が課題であり、「小さな拠点づくり支援事業」を結び付け福祉の視点を取り入れる。



次代に伝承される子ども歌舞伎

大場議員 『こども基本法』の施行を踏まえ、こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドラインの現状と政策立案にむけての課題は。

町長 高校生の模擬議会などで町づくりに繋げる取り組みを先進的に実施。実効性のある政策へブッシュアップさせることが今後の課題。『こども計画』の策定に向け検討する。



ぬまざわ みちや
沼澤 道也 議員

問

基盤整備の促進を

答

地区関係機関と協議を推進

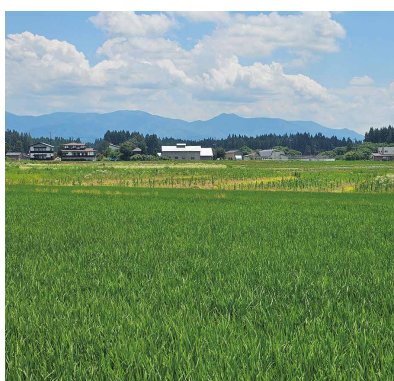
「地域計画」の取り組みで学んだ事

沼澤議員 地域計画の課題と今後の方向性は。

農林課長 1900haの農地を次世代に守り伝えていくことが、担い手不足の深刻さから将来的に大きな課題であることが浮き彫りになった。話し合いの中で約300haの受入れ先が未定の状態にある。今後は300haの集約化や二刀栽培など高収益園芸品目の拡大などを進め、多様な担い手の育成に努めていきたい。

沼澤議員 朴山・三枝地区の基盤整備を促進する必要性は。

町長 集約化を進める上で重要な課題と考えている。地区、関係機関との協議を推進していきたい。



朴山地区農地の様子

「金山型農業」の振興に期待

沼澤議員 4/21ライフビジョンでの二刀栽培の取り組み主旨は。その背景や農業振興の位置づけは。

農林課長 深刻な担い手不足と高齢化が背景にあり、補助制度の活用で定年退職後の生きがい創出や園芸生産額の維持、拡大を図っていききたい。農林課・農業委員会・金山農協による「三位一体のサポート体制」も構築していきたい。



現在の金山中学校

問 令和8年度の小学校児童が189人、中学校生徒が102人となっており、6年後には小学校が105人、中学校は84人の見込。今年度「小・中学校の未来像検討委員会」が設立され、将来の方向性と開校はいつ頃になるのか。

答 13名の委員で構成され、将来における金山町の小学校と中学校のあり方について7月中旬に第2回目の委員会では先進校視察をして、今年11月には方向性が報告される予定である。また、「義務教育学校にすべき」という方向性が示された場合は最短で5、6年とはかかると想定している。

問 国補正の重点支援地方交付金は、去年と比べてどうなのか。

答 物価高騰対策関連の交付金は、現段階で499万円と内示されている。例年から比べると非常に少ない。



デマンドハイヤー

問 高齢者の町外への通院等の交通手段としてデマンドハイヤーを利用できないのか。

答 デマンドハイヤーは現在のところ町内だけの利用となっており、町外への利用については今の台数では難しい状況である。今後、他の市町村の連携についても考えて行きたい。

問 東北農林専門職大学の学生に対し、卒業後の就農や定住に向けたPRの考え方は。

答 7月のオープンスクールに参加し町の紹介を行う。学生に研修を通じて、町の魅力を発信し、卒業後の定住や就職に繋がるよう実習先の拡大を進める。



フォークリフト

問 大規模農家においてフォークリフトは農作業に必須の機械である。農機具補助対象にできないのか。

答 使用頻度が高まっていると十分に認識し、要綱における除外規定から補助対象とする方向で検討する。

問 中東情勢等による物価高騰や資材不足の影響への対策は。

答 ごみ袋の価格高騰により補正予算を計上。国からの重点支援地方交付金等を活用し、必要な支援策を検討。

問 エアコン購入助成の要件を緩和し拡充した。熱中症警戒アラート発令時に危機管理室と連携し、防災行政無線で周知をする。

答 高年齢者への熱中症予防対策と啓発は。

問 グリーンバレー神室の予約システム移行に伴うロス分の影響とペット同伴の稼働状況は。

答 指定管理者の移行に伴い148泊分のロスが生じたが、現時点では約10%増の予約状況である。付加価値のあるペット同伴は約15%増加傾向にある。

産業厚生常任委員会

農機具購入補助要件の緩和を

総務文教常任委員会

今後の小・中学校の方向性は



すとう のりお
須藤 典夫 議員

問 ホットハウスの給湯設備はチップボイラーと重油ボイラーの併用

答

チップボイラー単体で事業費削減

須藤議員 建て替えになる「ホットハウスカムロ」の給湯設備については、現在休止している「チップボイラー」の再導入計画があるが結論はでたのか。

交流推進主幹 故障が多かった現行の木質バイオマスボイラーの再稼働は考えていないが、エネルギーの地産地消と木質資源活用の観点から、更新する木質バイオマスボイラーをメインに据え、サポートとして重油ボイラーを併設する方針である。

防災士の活動を支援

須藤議員 町内に19名いる民間資格「防災士」について、町としての位置づけや支援はどのように考えているか。



防災士の活動の様子

危機管理主幹 自主防災組織や防災訓練で防災士の皆様と連携して活動できる環境づくりや、情報共有・活動機会の創出を進めていく考えである。

現在、受講費や資格取得費用の全額助成を行っているほか、活動支援として帽子やヘルメットの支給、講話時の謝礼、各種研修参加時の費用弁償を予算化している。



いがらし ゆういち
五十嵐 優一 議員

問 防犯の対策は(防犯カメラ・行政情報ナビの連携)

答

五十嵐議員 既設の防犯カメラの現状・課題、今年度の設置計画、公共施設以外への設置予定を伺う。また、行政情報ナビ(タブレット)を活用した緊急通報の連携はできないか。

総務課長 町施設には現在8箇所15台の防犯カメラを設置しているが、明確な運用指針・ガイドラインの策定や「作動中」の表示等が課題である。今年度は新たに20台前後の設置を検討している。町道などへの設置は費用対効果の面で予定していないが、鳥獣対策や防犯目的としては有効と考えている。タブレット端末からの緊急通報は誤送信等の懸念があるため、専用機器の活用が現実的である。



山形県警防犯用品
購入キャンペーン

農林課長 猟友会の高齢化等により見回り・対応が限界に近づいているため、AI画像認識機能を搭載した監視カメラを導入する。

ライフビジョン等でのリアルタイムな注意喚起に加え、出没データを蓄積・分析し、草刈りなどの効果的な環境整備(防除)へつなげる。対策費用については、住民要望が多いため今回の補正予算で不要果樹伐採等の予算を増額し、即応できる体制をとっている。

五十嵐議員 有害鳥獣被害の現状と、AI監視カメラの導入について伺う。あわせて、対策関連の補助金(補正予算)の対応はどうか。

**有害鳥獣の対策について
(AI監視カメラ・補助金等)**

問 安心・安全なまちづくりは監視カメラを導入

答



グリーンバレー神室に設置されている自動販売機

まちづくり課長 目的外使用については、町に対して使用許可を出していただき個別に対応することになる。今回の改正については、町長が出していた利用許可を、指定管理者も許可を出せるように明確にするためのもの。

中村忠行議員 今回の改正で施設の有効活用が進むように考えていただきたいが、目的外使用（自動販売機など）にどう考えているか。

【議第43号 金山町総合交流促進施設の設置及び管理等に関する条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について】

議案への質疑応答要旨

5月臨時会

一般会計補正予算などの専決処分6件を承認

～令和7年度一般会計総額58億1千537万9千円～

5月臨時会が5月13日に開催され、補正予算、条例の一部改正、議会常任委員会条例の改正など7議案について審議し、全員賛成で可決した。

各委員会等の構成

産業厚生常任委員会

◎ 診療所 健康福祉課
◎ 農業委員会 農林課
◎ まちづくり課
◎ 環境整備課
◎ 産業課

総務文教常任委員会

◎ 選挙管理委員会 総務課
◎ 選挙管理委員会 総務課
◎ 教育委員会 総務課
◎ 出納室 総務課
◎ 町民生活環境課
◎ 民生課
◎ 総務課

1. 町長提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
議第39号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第15号)の専決処分の承認について 補正予算額 1億5,217万9千円 補正後予算額 58億1,537万9千円 歳入:地方交付税(特別交付税) 1億308万円7千円、地方消費税交付金 3千557万3千円など 歳出:基金積立金 2億円など
議第40号	令和7年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について 補正予算額 282万3千円 補正後予算額 8,795万1千円 歳入:医療保険料 409万4千円、一般会計繰入金 △127万1千円 歳出:後期高齢者医療広域連合納付金 282万3千円
議第41号	金山町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正
議第42号	金山町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正
議第43号	金山町総合交流促進施設の設置及び管理等に関する条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について まちづくり課所管施設の一部について、指定管理者の許可で利用可能にするための改正
議第44号	金山町みらい留学学生寮設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 4月1日から新庄神室産業高等学校金山校に校名変更となったことによる改正

2. 議会提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
発議第2号	金山町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

全員協議会 活動報告

金山町議会では全員協議会を毎月開催し、多様な行政課題について報告や説明を受け、議会が閉会中でも協議しています。

今年度は金山町中央公園地域振興施設について、一般会計当初予算に対し、町民への説明期間を十分に確保することを求める付帯決議を行っているため、議会として事業の進捗を注視しています。

地域振興施設に関連して4月28日に学童保育、6月24日に放課後子ども教室の運営状況と施設の状況を視察しました。

4月28日に最上広域消防本部新庁舎を視察しました。

最上地域の安全安心な生活を守るために最先端の設備や機能を有しているだけでなく、消防署員が働きやすいような配慮もされてます。



6/24 放課後子ども教室視察



4/28 学童保育視察



4/28 最上広域消防本部新庁舎視察

山形県選出 国会議員への 要望活動

6月22日に衆・参両議院議員会館に佐藤英司町長・鈴木英樹教育長とともに県内選出国会議員を訪ね、要望書を提出し、意見交換とともにアドバイス等をいただいた。要望事項は次のとおり。

- 東北中央自動車道 新庄・湯沢地域間高規格幹線道路の整備促進について
- 農業・農村対策の推進について
- 森林整備事業の予算の確保等について
- 国庫補助金・交付金の事業制度・予算の拡充について
- 凍上災の採択要件の緩和及び積雪寒冷地の舗装補修に対する制度創設、財源の確保について



加藤鮎子衆議院議員に要望



舟山康江参議院議員に要望

重点的に 要望した内容

① 道路インフラの整備促進

町民の生活と産業を支える幹線道路網の整備について、現在令和8年度以降の開通予定となっている新庄金山道路の、令和8年度または9年度中の早期開通を強く要望した。

また、「社会資本整備総合交付金」について、採択率が低下している現状を訴え、地方のインフラを維持するための予算規模の確保・拡大を求めた。

さらに、特別豪雪地帯である当町では、除雪作業による冬期特有の激しい道路の傷みが発生している。道路補修の課題を解決するため、「凍上災」の採択要件の緩和を強く要望した。



除雪作業による道路の傷み

② 農業・農村対策の推進と支援

来年度に予定されている米の水田政策の見直しについて、強い懸念を伝えた。生産量に応じた交付金へと制度が移行した場合、交付額が減少し農業経営に深刻な影響を及ぼす恐れがあるため、地域の実情に応じた配慮を求めた。

また、老朽化した農協の野菜集出荷施設の更新事業について、確実な採択と予算確保を要望した。

農道や水路の維持に不可欠な「多面的機能支払交付金」については、資材や人件費の高騰に対応し、予算の拡大を求めた。加えて、後継者不足対策として、若手就農者への補助金について、年齢制限や期間に幅を持たせた支援制度への拡充を提案した。



水路泥上げの共同活動

③ 森林整備と鳥獣被害対策の強化

森林が約3分の2を占める金山町では、「ゼロカーボンシティ宣言」と今年1月の「ネイチャーポジティブ宣言」を踏まえ、適正な森林管理と生物多様性の保持に努めている。森林組合を中心とした事業を継続するため、森林整備事業の予算確保を要望した。

近年急増している鳥獣被害については極めて深刻な状況にあることを報告した。4月以降だけでクマ8頭、イノシシ21頭が駆除され、今後被害拡大が懸念される二ホンジカも確認されている。イノシシ対策の電気柵設置補助や、猟友会への報償費など、町財政への負担は年々増加している。国による抜本的な対策と、財政支援の強化を強く求めた。



上：鈴木農水大臣、下：芳賀参議院議員の両議員秘書にも要望

東京金山会 第67回総会

～ふるさとを語る集い～



三線の演奏で花笠音頭



販わう販売ブース

東京金山会第67回総会が、6月21日(日)東京日暮里 アートホテル日暮里ラングウッド」を会場に開催された。

総会後には稲沢の永山茂樹さんの歌のステージや國分さえ子さん、眞榮里美佐子さんによる沖縄三線のステージと三線の演奏に合わせ花笠音頭を大勢で踊る場面もあった。

また、販売ブースも賑わい、地元ならではの品々に行列ができた。

参加者の方々は懐かしきふるさとを語り合いながら盛会裏に終了した。



も り 豊かな森林を次世代へ

遊学の森案内人会 会長 ほしかわ たかひろ
星川 隆弘 さん

はじめに、森の案内人とは、森林の役割や重要性を広く伝えるためのボランティアガイドのことです。私たちは自然観察会や森林づくり活動を通じて、次世代へ森林の知識を提供し、森林の魅力を伝えています。具体的には、自然観察・木工クラフトの指導や森林の機能や役割を説明し、森林の恩恵を伝え、もっともっと森林へ足を運んでいただけるように活動しています。

森の案内人になるには、県の養成講座を年4回ある内の年2回受講する必要があります。講座では、自然や歴史・文化、そしてその背後にある意味や相互の関係などを様々な体験や間隔あるいは言葉を通してビジターに伝え、興味をもってもらうための橋渡しをする役目が学べます。

そんな当会は、現在、会員数54名で組織し、町内15名、新庄市24名、真室川町4名、鮭川村2名、

舟形町2名、尾花沢市2名、酒田市2名、庄内町1名、天童市1名、山形市1名から来町いただき、遊学の森での様々な森林体験活動のサポートに充っています。特に敷居の高い組織ではありませんので、誰が来ても馴染みやすいと思います。みなさんと一緒に森林で遊びながら学び合えたらうれしいです。金山町の豊かな森林資源を後世へ引き継いでいきたいと思います。



リースづくり体験

9月定例議会は9月4日(金)～11日(金)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

◎発行責任者

議 会 議 長 栗田 保則

◎議会広報常任委員会

委 員 長 星川 智子

副 委 員 長 中村 忠行

委 員 大場 洋介

五十嵐 優一

宮林 聡志

発行◎山形県最上郡金山町議会

〒999-5402

山形県最上郡金山町大字

金山324番地1

TEL.0233-29-5638(直通)

FAX.0233-52-2004

本号の写真

6月14日(日)「遊学の森」を会場に「komorebiマルシェ」が開催されました。木育ワークショップや物販、シンガーソングライター・庄司紗千さんの音楽祭や四面楚歌の花笠音頭など多彩な催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。キッチンカーの出店もあり、五感で楽しめるイベントとなりました。遊学の森では、年間を通じて様々なイベントを企画しています。ぜひ一度足を運び、金山町の素晴らしい自然に触れてみてください。



遊学の森体験メニューの「神室山登山」